

危険予防の方法

- 1) 保安物件の状況（消費場所から300m以内の該当物件を○で囲むこと）。
但し、300m以内に該当物件がないときは「○○mなし」と記入ください。

	保安物件の種類	最寄りの保安物件までの距離
第1種	国宝建造物、市街地の家屋(100戸以上)、学校、保育所、病院、劇場、競技場、社寺、教会	
第2種	村落の家屋(10戸～100戸)、公園	
第3種	家屋(10戸以下)、鉄道、軌道、汽船の常航路又はけい留所、石油タンク、ガスタンク、発電所、変電所、工場	
第4種	国道、県道、高圧電線、火薬類取扱所、火気の取扱所、交通の頻繁な道路	
備考	火工所（消費場所内の見通しのきく安全な場所に設ける）。	
	交通量（1日当たり） バス 台、二・三輪車 台、四輪車 台 通行人 人、学童 人 交通制限の有無 有 時～ 時まで 無	

- 2) 見張方法及び信号方法（講じる手段を○で囲むこと）。

図面の	の位置に通行人への注意標識	} をたて関係人のほか立ち入ら
図面の	の位置に赤旗	
図面の	の位置に見張り人	
図面の	の位置に発破指揮者	

ないような措置を講じ、さらに

サイレン 拡声器 振鈴 人声 トランシーバー その他 ()	} により付近の者に連絡のうえ危険がないこ
--	-----------------------

とを確認したうえ実施する。

- 3) 飛石（防音）に有効な防止方法（講じる措置ア、イ、ウを○印で囲むこと）。
ア 込物（ ）を充分にし、過装薬にならないよう注意し、安全を確認のうえ実施する。

イ 発破箇所

畳 む しろ シート 古ベルト ()	} () 枚でおおい飛石を防ぐ。その上に
------------------------------------	-----------------------

防爆シート 金網 ()	} () 枚でおおい、	{	土囊 角材 鉄板 ()	} でおさえ、飛石（防音）
--------------------	--------------	---	-----------------------	---------------

に有効な防護措置を講ずる。

- ウ 別添図面（平面、断面図）の仕様により飛石に有効な（ ）防止柵等を設け飛石を防ぐ。

- 4) 火薬庫設置の有無
- 5) 運搬の概要
- 6) 取扱所の有無
- 7) 火工所の概要
別紙のとおり
- 8) 制限地区の有無